

# 明るい未来や夢の実現に向けて 積極果敢に挑戦



創一とは、町と町民の皆さまが連携し、町が持つさまざまな資源を結びつけ、新しいものを創り上げるという意味のほか、町民の皆さまと一体となって素晴らしい音色を奏でる「協奏」、良い意味での競い合いで発展する「競争」、力強いまちをつくる「強壮」の意味も持ち合わせているものであります。

この総合計画のもと「いきいきと輝き続ける『ひと』」「だれもが住みたくなる『まち』」「地域資源を活かす『しごと』』という3つの基本目標を柱に、町が持つ地域の資源を最大限に活かし、先人が築き上げてきた歴史や伝統を守りながら、さらに発展させてまいります。そして、次の世代を生きる若者へ、新たな歴史と、明るい未

来や夢を与えることができるよう、積極果敢に挑戦を続けてまいります。

年頭に当たり、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年もなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年明けましておめでとうございます。本年が皆さまにとりまして、明るく希望に満ちあふれる素晴らしい年でありますようお願い申し上げます。また、日頃から町政全般に、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、本県では昭和45年以来、46年ぶりとなる第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」が10月1日から11日までの日程で開催され、本町では、正式種目の軟式野球競技とデモンストレーションスポーツのネオホッケー競技が実施されました。期間中は、監督、選手をはじめ、競技役員、ボランティア、そして観客など約3千人の皆さま

から本町を訪れていただきました。町では「広げよう感動。伝えよう感謝。」の大会スローガンのもと、実行委員会を中心に葛巻らしい心のこもった「おもてなし」をもって歓迎することができました。国体ならではの全国屈指のハイレベルな競技を間近で観戦できたこと、全国の皆さまと交流し、本町をPRできましたこと、そして、何より町民一丸となって、この国体を成功させることができましたことは、町と町民の皆さまにとりまして、大変貴重な経験であり、大きな財産となったものと感謝しております。国体開催にご尽力いただきました多くの皆さまに心

から感謝申し上げます。

昨年は、地域資源とその機能を最大限に活用した地方創生の取り組みが評価され、町が県内初、自治体として全国2番目となる「みどりの文化賞」を受賞したほか、農業委員会の農林水産大臣表彰受賞、希望郷いわて国体や全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」での町出身選手の活躍などもありました。このように個人や団体が全国レベルで活躍し、それぞれの分野において一歩前進することができた年でありました。改めて、町民の皆さまのご活躍に心からお慶び申し上げますとともに、敬意を表する次第であります。

本年は、昨年中に本格的な工事がスタートしております葛巻病院、養護老人ホーム葛葉荘、江刈小学校校舎の完成を予定しているところであり、また一歩、まちづくりを前進させる年となります。また、町の最重要課題である人口減少に歯止めをかけるため、これまで以上に町民の皆さまと行政とが一体となった取り組みを進めてまいりたいと考えております。

現在推進しております総合計画では、目指すべき将来像を「未来を協創する 高原文化のまち」と掲げたところであります。この「協

## 年頭のごあいさつ

葛巻町長 鈴木 重男

